

8/28 みどり台小学校で人権教室を開催
人権について楽しく学ぼう



子どもに人権の大切さを伝える「人権教室」がみどり台小学校で開催され、2年生の児童116人が参加しました。はじめに、人権擁護委員の福井 恵子さんと山本 邦江さんがホワイトボードを使って講義を行い、「いのちを大切にしよう」、「相手の気持ちを考えよう」など、子どもにもわかりやすい言葉で人権の意義を解説。人権イメージキャラクター「人KEN まもるくん」と「人KEN あゆみちゃん」の活躍を描いた啓発映画も上映しました。後半、まもるくんが姿を現すと、会場は大いに沸き、握手を求める児童が長蛇の列を作りました。授業を振り返って、人権擁護委員の山内 雅彦さんは「一人一人、違いがある中で、思いやりの心や優しさを大切にすることが大切だと学んで帰ってもらえたら」と話していました。

人のうごき

《総人口》
97,076人 (+159)
男性 49,354人 (+110)
女性 47,722人 (+49)
《世帯》52,756世帯 (+84)

()内は、前月との比較です。

9-1 現在

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしつないを問いません。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

8/23 体験してみよう パラスポーツ
みんなのスポフェス



千歳市社会福祉協議会が主催する「みんなのスポフェス」が、北進小中学校で開かれ、親子連れなどの多くの来場者で賑わいました。本イベントは、ふれあい広場事業（赤い羽根共同募金事業）の一環。昨年までは「ユニバーサルマナー検定」が開催されていましたが、今年は、障がいのある方が講師となり、健常者が参加者となる「パラスポーツ」をテーマに企画されました。グラウンドではデフサッカー、体育館ではボッチャや車いすサッカー、車いすラグビーの体験会が行われ、体験後は射的などのお楽しみブースで使えるチケットが配られました。参加者の大瀧 紫那乃さん（緑小5年）は「車いすに乗ったことがなかったから楽しみにしていた。急カーブなどの操作もできるようになったが、明日は腕が筋肉痛になりそう」と充実した表情で話しました。

手づくりの着陸場から新千歳空港へ開港100年の歴史を振り返る

ちとせ空港

Vol.29 ターミナルビル開業

百年物語

千歳空港として北海道空港株式会社が発足した翌年の昭和37年春、新ターミナルビルの建設工事が始まりました。工事はおよそ1年かけて進められ、昭和38年3月末に竣工。4月1日から開業しました。

建設中のターミナルビル

部が2階建てのモダンな建物で、1階には出発・到着ロビー、店舗などが入り、2階には航空保安事務所と航空測候所の官公庁スペースが設けられました。先に建設が進められていた民間航空機用の誘導路や駐機場も完成し、ビルと合わせて供用を開始しました。

新ターミナルビルの開業は、滑走路の東側に設定された民間航空専用エリアが名実ともに「千歳空港」としてデビューしたことを意味していました。ところが、そのわずか3年後、これまでの歩みが根幹から覆りかねない事態が発生し、千歳市は大きく動揺することとなります。

完成直後の千歳空港ターミナルビル全景

8/1 豪華観光列車「THE ROYAL EXPRESS」
歓迎・応援セレモニー



豪華観光列車「THE ROYAL EXPRESS（ザ・ロイヤルエクスプレス）」が、この日JR南千歳駅に到着。2020年度から始まった取り組みで、今年で6年目を迎えます。列車内では、「すし心 福籠」および「北の華 はやし」のお寿司や株式会社もりもとの「至福のいちご大福 ゆめ」、「ハスカップジュエリー・ヌーボー」が提供され、乗客の皆さんに千歳の味と魅力を堪能していただきました。停車したホームでは、株式会社もりもとの皆さんや市職員が横断幕を掲げ、手旗を振って笑顔で歓迎しました。

8/13 千歳ボクシングジム所属 中島 永久くん
千歳市から世界へ



千歳ボクシングジムに所属する中島 永久くん（千歳中3年）が、兵庫県で行われた「第12回 全日本UJボクシング王座決定戦」で優勝し、日本チャンピオンに輝きました。昨年の東日本大会での悔しさを胸に、大会前には兄の特別なトレーニングを受け、その成果を発揮。王座決定戦に出るためには、全国優勝経験者との連戦を制する必要がありましたが、「絶対に優勝したい、自信はあった」と振り返ります。千歳ボクシングジムの川上会長は「足を使った変則的な動きや、強烈な右ストレートが強み」と高く評価。今後の目標は、「日本代表としてアジア大会に出ること」と力強く話し、日々のトレーニングに励みます。



まちのできごと・マンスリーでお知らせします。



8/1 ふるさとポケット絵画展選考会
菊池 音里さんに最優秀賞

今年で28回目となる、ふるさとポケット絵画展。その入選作品を決める選考会が開かれ、市内の小学1～3年生による応募作品902点の中から、菊池 音里さん（北陽小1年）の作品が最優秀賞に選ばれました。作品は、画用紙いっぱいの虹からお菓子が降ってくる様子と、それを見つめる音里さん自身を描いたもの。カラフルさとオリジナリティが審査員の心をつかみ、ほぼ満場一致での選出となりました。普段から絵を描いており、工作も好きだという音里さん。8月1日開催の授賞式では、「うれしいし、びっくり。これを見た人がニコリしてくれたら」と受賞の喜びを話していました。作品は、9月28日（日）開催予定の「ふるさとポケット」をPRするポスターに使用され、市内の公共施設や学校に掲示されています。